頭首工の油圧配管が破損し油漏れ事故の発生

（緊急復旧工事手法の事例）

【対応する】

【内容】

・愛知川頭首工の右岸堤防法面ブロックに油圧配管から油漏れがあると連絡があり、現場の確認を行った。

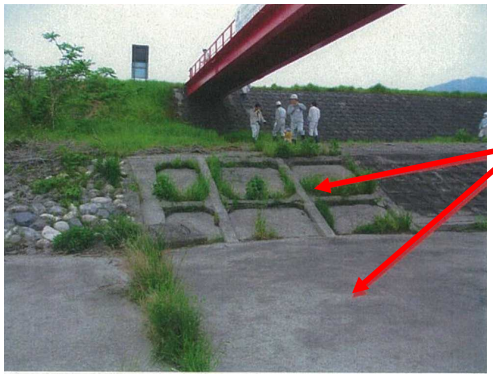
【現場の状況】

・右岸堤防と頭首工の鋼板ステップとの接合付近より油漏れの痕跡を確認
・油流出範囲は、第１段法面ブロックと第１小段部
・第２段法面ブロックと第２段小段部には、油流出の痕跡なし

■右岸堤防油流出範囲

第１段法面ブロックと下の第１小段に油流出

■接合部付近（近景）



下の第２段法面ブロックや第２小段部には油流出の痕跡は見られない。

赤線部が油流出の範囲

■現場付近の状況（全景）

■右岸堤防への頭首工鋼板ステップ取付け部

下の第２段法面ブロックや第２小段部には油流出の痕跡は見られない。

■右岸堤防の配管状況

コンクリート側溝内に配管されている。人力では開閉できず。

■操作室からの配管状況

１２本のステンレス鋼管が配管されている。

【現場の対応】

①各関係機関への連絡、現場確認および事務処理

・15 時 30 分土地改良区より、愛知川流域田園整備事務所へ連絡を受け、直ちに現場確認を実施
・東近江環境事務所へ状況報告および現場確認を依頼
・東近江土木事務所へ状況報告
・土地改良区および田園整備事務所職員により油除去作業開始
・東近江環境事務所職員による現場確認とその結果
  1）油の河川への流入は見られない。
  2）今後、流出が発生しないよう応急処置を行うこと
  3）油漏れ箇所の特定、復旧とともに流出した油量の確認を速やかに行うこと
・19 時 20 分油除去作業完了

②油排出作業状況

■油を吸った草根の除去作業

■除去完了（草根は袋詰め）

■草根搬出

袋詰めした草根は、ダンプトラックに積む込み搬出。土地改良区が産廃処分する。

■油吸着作業（第１段法面）

■油吸着作業（第１小段）

コンクリート面および草根を除去した地面におがくずを撒き、残った油分を吸着させ除去する。

■油流出付近に吸着マットを設置

■緊急用油液処理キット

■吸着マット押さえ設置状況

■作業完了

【原因】

・道路と管理橋の接合部分で、耐圧ゴムホースとコンクリート壁が干渉してホースが損傷し、油が漏れたことを確認

■耐圧ゴムホース状況確認

■耐圧ゴムホース破損部（近景）

■耐圧ゴムホースからの漏油状況

【今後の対応】

・耐圧ゴムホースは、特注品であり即納は不可能であるが可能な限り急いでもらう。
・交換資材が納入されるまで、応急処置の対応を行う。
・なお、流出した油量は確認できなかった。